

令和元年度「アーカイブ保存修復研修（基礎コース）＋（実技コース）」開催要項

国立女性教育会館では、女性の歴史を今に生かし、未来につないでいくために、女性に関わる原資料（女性アーカイブ）の保存と活用に取り組んでいます。

その活動の一環として、アーカイブの保存や整理について新しい情報をお求めの方や、これから業務にとりくむ方のために、平成21年度からアーカイブ関連の研修を実施しています。

アーカイブの作成や保存に関する講義・実践報告・活用事例と参加者によるディスカッションを行う基礎コース、そして資料の保存修復を実習形式で学んでいただく実技コースを開催します。

女性アーカイブの保存・提供に携わる実務者の方、大学・機関等の図書館や文書館職員の方のご参加をお待ちしております。

1. 期 日 令和元年11月27日（水）～11月29日（金）
 - ① 基礎コース：11月27日（水）午後～28日（木）午前 1泊2日
 - ② 実技コース：11月28日（木）午後～11月29日（金）午前 1泊2日オプション：11月29日（金）午後
 - ・基礎コースのみ、実技コースのみ、基礎・実技通しての参加、いずれも可能です。
 - ・実技コースは②の1泊2日、全日程参加のみです。内容は平成30年度とほぼ同じです。
 - ・オプションは全日参加の方を優先とします。
 - ・研修参加の方は国立女性教育会館に1泊1,200円でご宿泊いただけます。

2. 募集人員 女性関連施設・図書館・文書館の実務担当者、地域女性史編纂関係者
 - ① 基礎コース：30名
 - ② 実技コース：20名・オプション：20名

3. 主 催 独立行政法人国立女性教育会館

4. 後 援 株式会社資料保存器材

5. 会 場 国立女性教育会館
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地
URL: <https://www.nwec.jp/>

6. 日程・内容

11月27日 (水)

<基礎コース 第1日>

12:45-13:00	受付	
13:00-13:10	開会・挨拶	国立女性教育会館理事長 内海房子
	オリエンテーション	
13:10-14:40	史資料保存の考え方と取組み方 史資料保存では特に次の2点が重要。1)保存をプリザベーション(補修だけでなく予防、代替、防災などを含む広い概念)で理解すること、2)保存ニーズを把握して総合的、計画的に取り組むこと。これらについて具体的、実践的に学ぶ。	安江明夫氏 (専門図書館協議会顧問、 元国立国会図書館副館長)
14:50-15:20	アーカイブ活用事例：三重の女性史研究会 発足10年を迎える三重の女性史研究会の歩みと、活動におけるアーカイブ資料の活用について、女性史の視点から具体例をお話いただく。	佐藤ゆかり氏(三重の女性史研究会)
15:20-15:50	アーカイブ実践報告1：日本女子大学成瀬記念館 日本女子大学成瀬記念館は、創立80周年記念事業の一環として、1984(昭和59)年に竣工。創立者成瀬仁蔵の教学の理念と学園の歴史を明らかにし、広く女子教育の進展に寄与することを願って設立された。学園の文書館、博物館としての、様々な活動の実践をご報告いただく。	岸本美香子氏(日本女子大学成瀬記念館学芸員)
16:00-17:00	グループディスカッション テーマ別または機関別にグループ分けし、ディスカッションを行う。時間内での結論づけを求めず、日常業務で他人に相談する機会がない疑問等について議論や情報交換を行う場を提供する。	
17:15-18:00	女性教育情報センター・女性アーカイブセンター見学(希望者のみ)	
19:30-20:30	情報交換会(希望者のみ)	

11月28日 (木)

<基礎コース 第2日>

9:00-9:40	アーカイブ実践報告2：WAN ミニコミ図書館 2013年に認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)の中に女性の活動を伝えるミニコミを収集・保存・公開することを目的に開館。許諾の得方、デジタル化、公開の実践をご報告いただく。	境磯乃氏 (WAN ミニコミ図書館館長)
9:40-10:20	資料のデジタル撮影のポイントと注意点 資料をデジタル化する際の作成方法、画像の仕様、チェック方法等について説明いただく。	岸剛史氏(東京大学経済学部資料室学術支援職員)
10:30-12:00	アーカイブと著作権 資料の複写・撮影・デジタルデータ公開等に関わる著作権、肖像権や個人情報等の関連する法制度について解説いただく。	生貝直人氏 (東洋大学准教授、東京大学客員准教授)

11月28日(木)

<実技コース 第1日>

13:15~13:30	受付	
13:30~13:35	開会 オリエンテーション	
13:35~17:00	紙資料の修復関連実習① コンサベーション・バインディングの実習を通して、図書資料の構造を理解し、受講者が補修を行う際に役立つ知識や技術を学びます。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる

11月29日(金)

<実技コース 第2日>

9:00~11:00	紙資料の修復関連実習② 1日目の実習の続きを行います。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる
11:00~11:55	質疑応答 実習や日頃の補修作業での疑問や課題について質問する時間を設け、情報共有を図ります。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる
11:55~12:00	閉会	

11月29日(金)

<オプション>

15:00~17:00	(株) 資料保存器材見学会 全国から集まるアーカイブ資料の保存修復の作業現場を見学します。	(株) 資料保存器材
-------------	--	------------

7. 所要経費

- (1) 参加費 ①基礎コース：無料 ②実技コース：材料費 2,000 円
(2) 宿泊費 1泊 1,200 円 (前・後泊とも同額)
(3) 食費 朝食 バイキング 880 円
昼食 カフェテリア形式 550 円~800 円程度
夕食 バイキング 1,100 円
(4) 情報交換会費 1,000 円 (希望者のみ。軽い飲食物をご用意します)

8. 申込手続

- (1) 方法 下記①または②のいずれかにてお申し込みください。
①電子メール：ホームページ (<https://www.nwec.jp/event/training/archivist2019.html>)
掲載の申込書様式に入力のうえファイル添付にて送信
(必要事項をメール本文に入力のうえ送信しても可)
②FAX: ホームページ掲載の申込書様式に記入の上送信
(様式がなければ必要事項を記入した紙でも可)
- (2) 期限 令和元年 11 月 14 日 (木)
定員を超えた場合は、期限前に締め切ることもあります。

9. 申込・問い合わせ先

国立女性教育会館情報課 森、島田

TEL: 0493-62-6727 FAX: 0493-62-6721 電子メール: infodiv@nwec.jp